

令和6年

第10回9月定例教育委員会議事録

令和6年9月26日

大野城市教育委員会

## 次 第

### 1 招集日時

- 招 集 日 令和6年9月26日
- 開会時間 午前10時00分
- 閉会時間 午前10時30分

### 2 招集の場所 大野城市役所 本館4階 全員協議会室

### 3 会議次第

#### (1) 開会

#### (2) 議事録署名委員の指名

- 令和6年第8回8月定例会議事録の署名委員 山口 典子 委員
- 令和6年第9回9月臨時会議事録の署名委員 山口 典子 委員
- 令和6年第10回9月定例会議事録の署名委員 藤河 久美 委員

#### (3) 議事 なし

#### (4) 教育長報告

#### (5) 報告 なし

#### (6) その他

- ①令和6年度 大野城市「心の教育フェスティバル」について
- ②令和6年度 大野城市研究指定・委嘱発表会の出欠について
- ③教育長の業務報告（8月～9月）
- ④教育委員会の主な行事・業務の予定（10月）

#### (7) 閉会

### 4 出席した委員等 伊藤 啓二（教育長） ・ 松本 民仁 ・ 高野 英機 山口 典子 ・ 藤河 久美 ・ 佐藤 友恵

### 5 欠席した委員 なし

### 6 出席した職員 教 育 部 長 若山 純哉 教 育 政 策 課 長 光野 直隆 教 育 振 興 課 長 松岡 真彦

教 育 支 援 課 長	山崎 栄子
教育支援課主幹指導主事	平井 源樹
ス ポ ー ツ 課 長	甲斐 めぐみ
ス ポ ー ツ 課 長	中原 英貴
教 育 政 策 課 係 長	川口 司寛
教 育 政 策 課 担 当	吉富 咲紀
教 育 政 策 課 担 当	橋本 由美

7 会議の書記

教 育 政 策 課 担 当	橋本 由美
---------------	-------

午前10時00分 開会

○伊藤教育長

ただいまから令和6年9月教育委員会を開催いたします。

〔議事録署名委員の指名〕

○伊藤教育長

まずは議事録の承認に入ります。前回の8月定例会及び9月の臨時会にて山口委員をお願いをしておりましたので、ご署名をお願いします。

それでは、今回の議事録の署名については藤河委員をお願いいたします。次回の委員会にてご署名をお願いいたします。

〔議事〕

○伊藤教育長

次第3、議事。

今回は議事がありませんので、次に進みます。

〔教育長報告〕

○伊藤教育長

それでは、先日、管内教育長会で出された資料をもとに幾つか報告、情報提供をさせていただきます。

まずは1ページ、不登校の生徒が学びの場として、福岡県立高校がどのような制度を作っているかということをお委員の皆さん方にも少し知っていただこうと思ひまして、資料を出しております。

2ページをご覧ください。

「全国で初となる公立高校の学びの多様化学校を福岡県立小郡高校内に設置します」ということで、対象の生徒たちは手厚い支援があれば継続して登校ができる不登校生徒等ということで、欠席日数が一定数を超える不登校生徒等が対象という形になります。小郡高校の普通科コースとして設置され、40人の定員で、通学区域は県内全域です。「自己探究」や「ソーシャルスキルトレーニング」など、様々な自分自身の進路実現に向けた特別カリキュラムで手厚くサポートされるという形になります。小郡高

校ですので、筑紫地区管内は十分登校がしやすい地域であり、新しい選択肢になるかなと思っております。

前のページに戻りまして、そのほかにどういうものがあるかといいますと、通信制の高校が博多青松高校にあります。これは主に、土日に登校し、平日は自宅で学習をして、毎日登校する必要はない形になっているものです。県内では博多青松高校だけですけれども、サテライト校として北九州、筑後、筑豊に協力校があり、土日の登校はそちらへも通学できるという形になります。

そのほか昼間の定時制高校、それから夜間の定時制高校、それから全日制の高校という形で、様々な県立高校の選択ができるということになります。

そのほか、2ページをご覧ください、下の段に書いてあります「県立高校全校で不登校生徒等が志願しやすい入学者選抜を実施します」という形で、一般入試において、不登校の生徒に配慮し、中学校から出される調査書を選考の資料としない入学者選抜が来年度から実施されます。このような形で、今現在、不登校の児童・生徒が増えている状況に合わせて、県立高校も様々な改革を進めていくというところです。

続いて3ページ、これは部活動の地域移行に関する福岡教育事務所管内の状況が示されましたので、お知らせいたします。

上に書かれておりますのは、スポーツ庁が示した部活動地域移行のスケジュールということで、令和5年度から改革推進期間として進めているところです。3年間で改革推進をして、令和8年度から地域クラブ活動を充実していきましようという形で、スケジュール設定がされています。大野城市は令和5年度からこの改革を進めていくように検討して、ご存じのとおり、今年8月末から大野中学校で部活動の地域移行が始まりました。

下の円グラフですが、これは福岡教育事務所管内の16市町の部活動の地域移行に関する協議会の設置状況について表しているもので、設置済みが12、設置予定が3、未定が1という形で、大半のところが設置をしているということになります。

4ページ、5ページ、6ページは現在既に始まっているところの状況です。宗像市、宇美町、大野城市、篠栗町に今度、久山町が加わって5市町で行われています。それぞれ、やり方が様々ですが、宗像市が福岡県で一番初めに国の指定を受けてモデル事業として開始をしましたが、令和4年度から種目に応じて広げているところで、年々種目数が2、3種目ずつ増えているところです。

それから、新たな取組としてグローバルアリーナへの委託事業で、むなかたグロー

バルアカデミーという形で、部活に入っていない子どもが土日にグローバルアリーナで様々なスポーツが体験できる事業を行っていると聞いています。

それから、宇美町も種目ごとに進めているところです。宇美町の特徴としては、合同部活動の実施を進めているところが特徴となります。

我が市、大野城市の他市町と違うところとしましては、まずは学校ごとにやっているところ、それから実行委員会にコーディネーター等を配置しながら進めているということが特徴的な部分かなと思っております。

そのほか篠栗町、それから久山町が進めています。久山町は学校数が1校ですので、その利点を生かして進めているところです。

以上、部活動の地域移行はこのような形で管内でも少しずつ推進されていますが、大野城市も一つのモデル校になっているところです。

それから7ページ、令和6年度の卒業式、それから令和7年度の入学式の日程が福岡教育事務所から提案されまして、教育長会でこの日程で進めようという形になりましたので、お知らせをいたします。

卒業式は、中学校が3月7日、小学校が3月14日、それから令和7年度の始業式が小中学校ともに4月7日、入学式は中学校が4月9日、小学校が4月10日という形で進められます。一番下のほうに福岡市が参考として出ていますが、今回は福岡市と全く同じ日程という形になっているようです。

それでは、教育長報告は以上でございます。今の報告について何かご質問はありませんでしょうか。よろしいですか。

どうぞ、佐藤委員。

#### ○佐藤委員

今回、いろいろな情報の提供をしていただきまして、ありがとうございます。県立高校の入学者選抜の実施など、中学校で心の一時的な疲れで不登校になっている生徒が高校になってから今の状態ではやり直しが利かないような現状があると思うので、今、こういった形で福岡県が全国のモデルとなって進めていただけたらうれしく思います。

大野城市も以前お話ししていた不登校の子に対する支援一覧がホームページに掲載されているのを確認しました。すごく分かりやすくまとまっている、保護者や生徒等にとってもすごくいい情報ツールなんじゃないかなと思いました。保護者や生徒

に、実際に手元に渡っていく形の支援をどうぞよろしくお願いいたします。

○伊藤教育長

子どもたち、それから保護者の皆さん方が、将来に関しての不安を少しでも軽減して、可能性は沢山あるんだということを分かっていたるように、教育支援課が中心となって様々なことを発信してもらっています。このように高校への進路も多様なものがあるということは、これから先を見通す情報になると思いますので、積極的に発信してまいりたいと思います。

そのほかに何かありますか。よろしいですか。

〔報告〕

○伊藤教育長

それでは、5番、報告ですが、今回は報告の事案はございません。

〔その他〕

- (1) 令和6年度 大野城市「心の教育フェスティバル」について
- (2) 令和6年度 大野城市研究指定・委嘱発表会の出欠について
- (3) 教育長の業務報告（8月～9月）
- (4) 教育委員会の主な行事・業務の予定（10月）

○伊藤教育長

では、これをもちまして9月の定例教育委員会を閉会いたします。

午前10時30分 閉会